

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361(fax 兼用)

市議会議員 吉田つとむ

yoshidaben@gmail.com



第3定例会速報：補正予算修正案提出等

無所属会派の修正案に支持が広がるが否決

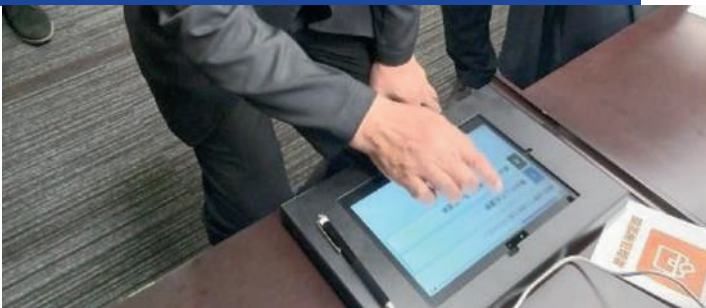
町田市議会無所属会派は第3定例会の補正予算案の中の、「芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称)国際工芸美術館整備事業」に関連する事業費の削除することをベースにした内容の修正案を提出しました。石阪市長は「(仮称)国際工芸美術館」建設を、5期目公約に盛り込まなかったのですが、当選後、直ちに計画の導入に突き進みました。その予算は賛成多数で押し切ってきましたが、その契約は3度にわたって応札者が無く、さらに仮契約者が受注辞退する事態が起きたものです。ここはじっくり計画を再検討するべきものですが、ここにきて、さらに工事費を大幅に積み増す補正予算を提出してきたもので、無所属会派はそれらを削除した予算修正案を提起したものです。今回は修正案の賛同者が増えましたが、過半数には至りませんでした。関連する住民請願にも賛成討論を行いました。これも議会の過半数に至りませんでした。本来は改選後に再提出すべきと言う意見も出てきました。

東京都内議会で初：電子投票システム勉強会を会派が主催

無所属会派が主催し、全会派を網羅した13名の出席



タブレットの氏名を選択する模擬投票体験



昨年12月に行われた大阪府四條畷市の市長市議補選では、久しぶりに電子投票が行われました。場所が大阪府内であったことで、関東圏ではそこまで関心が持たれなかったのではないかと推測しています。電子投票について、私は、この技術が開発されて以来関心を持ってきましたが、上記の選挙で用いられた電子投票システムの特徴(国が定める基準)は、第一に電子投票機が専用機でなく汎用機のタブレット(コスト削減)も可能になったことです。次いで、過去にトラブルを起こしたクライアントサーバー方式(複数の投票機の投票データを1台のサーバーに集約する方式)を使わず、電子投票の当初に採用されてきた、スタンドアローン方式(個別の投票機ごとに投票データを記録する)のみが採用されていることです。この単体記録方式でデータ保存はUSBやSDカードに保存されます。(投票データの保存の確実性:スタンドアローン方式の電子投票ではシステムがダウンした例が無い、一方クライアントサーバー方式ではサーバーダウンが生じた例が起きているという問題があった)

今回は、町田市議会無所属会派が、開発メーカーの京セラ株式会社の協力で、議会の第3委員室を使用し、全会派の議員が参加する勉強会と模擬投票体験の場を設定したもので、大きな成果をもたらしました。(特集号に続く)

参加者から活発な質問が出て、京セラから明快な説明

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる 町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表) 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第55期生が終了しました。

インターン体験記⑦岡田 愛海

町田市交通安全推進協議会の傍聴をさせていただきました。協議会の内容を端的にまとめると、警察の方から学校や地域の代表も集まり、上半期に発生した事件やこれから注意すべき点を共有する会議でした。その中でも興味深いのは、場所によって事件が発生しやすい曜日、時間が違うということでした。何気なく過ごしている町のすぐ側で発生する人身事故ですが、私個人としては常日頃事件を意識しているわけではありません。ニュースに上がる人為的な殺傷事件を耳にしても、小さな人身事故まで把握している人は少ないのではないだろうか。そう考えた時、先ほど記述した「事件が発生しやすい曜日、時間」を知っておくのはとても大切なことなのだと感じました。予期せぬ事故を防ぐことは難しいでしょう。しかし、事前に重要な情報を把握しておくことで、己や家族の身を守ることは充分可能です。自分にとって興味のある情報ばかり集めてしまう傾向にある若者ほど、少しでも身近な事故について耳を傾け、加害者にも被害者にもならない道路の使い方を学ぶ必要があるのだと思いました。

また、電動スクーターに関することや、来年の春から始まる自転車の規制など、実際にあった過去の事件のことを踏まえ、理解を深める有意義な協議会を聞かせてもらえました。思うよりも身近な人身事故について理解を深めるため、こういった協議会は道路を使う人々にとって欠かせないものなのだと学ぶことができました。



インターン体験記⑧岡田 愛海

今回は、UP CYCLE FES (通称あぶ祭: 武蔵小杉にある川崎市コンベンションホールのイベント) にて開催されるファッションショーに吉田さんが出演するというので、来場者としてあぶ祭に参加しました。過去に何度かファッションショーを見たことはありますが、準備や本番前の短いリハーサルをしている舞台裏を見たことがなかったので、一味違った視点でショーを見ることができました。



格式の高いファッションショーでは、メイクからヘアスタイル、衣装の着用までを専門のスタッフが担当します。しかし、吉田さんの参加したニューワンダフルでは、個人で雇わない限りメンバーの方はそれぞれで準備を行います。全てを一から自分で行い、もっとも衣装が魅力的に見える仕上がりを行っている姿からは、このファッションショーをより良いものにしたいという気持ちを感じました。トップバッターのため出演までの時間が非常に短い中、舞台の四分の一にも満たないスペースでリハーサルを行っていました。狭い室内では動きにゆとりがなく、果たしてどのような形でショーが始まるのかわからないまま、私は観客席へと移動しました。

横浜美術大学4年生岡田愛海(第56期生)

◎ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年8月末までに114名が参加しました。

◎ 第55期インターン生の森田瑛斗さんは、医師国家試験に合格し、4月1日から研修医として社会人。

◎ 2025年夏季第56期生インターンシップは終了し、まとめのレポートを提出段階になります。

* 次期のインターンシップは、2026年春季第57期の受け入れをまもなく開始します。